

# コンクリート床塗装、広域から依頼

## タナカペインティング

コンクリート床の塗装を手掛けるタナカペインティングは、光沢のあるコンクリート床に仕上げる鏡面加工に乗り出すなど、事業領域を広げている。既存事業のコンクリート床塗装は倉庫や食品工場などから依頼が増えて

いる。全国的にも同業が少なく、さらに熟練の技術を強みに各地に販路を開拓していく。同社は05年に設立。すべて自社施工で、フォークリフトの走行で傷んでいる床、ひび割れ、油の染み込み、凹凸、既存塗膜の劣化などのケースに対応。特殊機材を使うことで、旧塗膜や油汚れなどを付着物を除去し、コンクリート床との密着性を高めている。

食品関連工場や店舗、ホテル、厨（ちゅう）房からの引き合いが増加。水系硬質ウレタンを採用し、低臭や耐熱水、耐衝撃性などの効力を発揮する。食

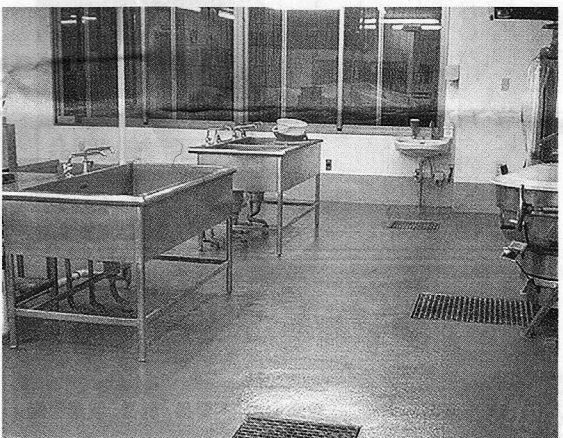
品工場の場合は、下地処理時や粉じん、塗膜片が飛散しないように、ビニールテント養生をした後に、下地処理を行う。厨房・食品工場は水分を含んでいるため、水分を抑える水系硬質ウレタン樹脂で対応している。

弁当工場や豆腐製造工場、納豆の製造工場、醸造工場、キノコ栽培工場などの施工も増えており、小規模なスペースにも対応可能で、1日で作業が完了する。夜間作業も行う

ことで、依頼者の業務に支障が出ないように配慮している。

田中幸夫社長は「顧客が休日もしくは業務を行っていない夜間作業が中心のため大変な仕事だが、職人としての技術を身に着けることで、大きな自信につながる。今後、リフォーム事業がさらに拡大していくので、多くの人材を採用していく。希望者を募り、教育体制を充実させていきたい」と話している。

（飯島幸治）



作業はすべて自社施工